

それは、ほんの少しの心がけ

東日本大震災震災を経験し、私たちはこれまで普通に生活してきた環境が、どれほど幸せなものであったかを考えさせられたことと思います。

今、日本はこの大震災からの復旧・復興に向け、国民一丸となり取り組んでいるところですが、この困難に当たって私たち一人ひとりが、「今、自分に何ができるか」を考えなければなりません。被災地に行つて協力ができなくても、協力できることがあります。そのひとつが「節電」です。それは小さなことかもしれませんが、その積み重ねが大きな力となり、この困難を乗り越えることができるはずで、一人ひとりのほんの少しの心がけが、大きな力となります。

今夏の電力供給力は？

東北地方太平洋沖地震および津波の影響により、太平洋側の発電設備に大きな被害が発生しました。これにより、3月には、計画停電が実施され、私たちの日常生活に大きな影響を与えました。

震災直後の電力供給力は3100万キロワットまで落ち込みましたが、現在では整備復旧と同時に、長期計画停止中の発電所の運転再開などを実施し、供給力の確保に取り組ん

結果、5380万キロワット（7月末）を確保できる見通しとなりました。

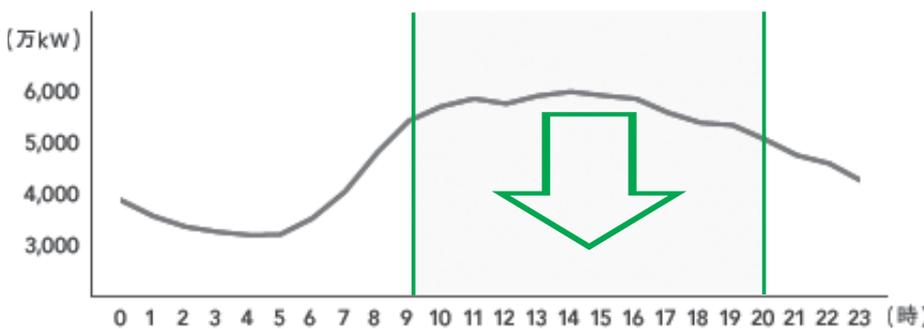
しかし、昨年の最大電力は約6000万キロワット、まだまだ昨年の最大電力を確保できていないのが現状です。今夏も昨年のような猛暑となった場合、電力需給の安定が保たれないためにも、私たち一人ひとりの心がけ、行動が重要となっています。

節電はいつすればいいの？

一日の中で、家庭を含む全体の電力需要が最も大きくなるのは、午後2時ごろです。特に、7月から9月の平日は、冷房需要が増えることが要因としてあげられます。また、家庭では午後7時から午後8時までの間が、最も大きくなる時間帯です。

このことから、一日を通じた節電を心がけつつ、特に日中の午前9時から午後8時までの時間帯の節電をお願いします。家庭では、炊飯器や洗濯機などのタイマーをうまく利用し、この時間帯を避けて利用するようお願いいたします。

夏期の1日の電力需要（最大需要発生日）



(出典：資源エネルギー庁資料)

午前9時から午後8時

特に、家庭では午後7時から8時

受付時間：午後9時から午後7時（休・祝日を除く月～金曜日） 午前9時から午後6時（休・祝日を除く土曜日）